

保育所・保育士の自己評価への取組みの推進について

制度・保育内容研究部会

- 1 制度・保育内容研究部会では、保育士・保育所の自己評価について、そのあり方や手法について検討を進めてきています。
- 2 平成 24 年度においては、個人の自己評価から保育所全体の自己評価につながる取組み、その過程で主任保育士が果たすべき役割、課題および留意点について整理しました。※別紙「保育所・保育士の自己評価への取組み整理」参照

【保育所の自己評価の基本的な流れ】 ※各段階で評価と課題の書き出しを行う

①保育士等（職員個人） → ②チーム（小集団） → ③保育所（職場全体）

【検討のポイント】 ※留意事項：保育士の勤務評価（査定）を行うものではない

- ①保育に関して保育士が行った評価を保育所の評価につなげていくしくみとはいかなるものか
- ②その過程で主任保育士が果たすべき役割はなにか
- ③課題や留意点はなにか

自己評価の取組みの意義について

平成 20 年に告示された保育所保育指針では、保育所は指針に示される保育の目標を達成するために、「保育課程」及び「指導計画」を作成しなければならないとされ、さらにこれらに基づく保育実践を振り返り、自己評価することを通じて、その専門性の向上や保育実践の改善に努めることとされました。

自らの保育の振り返りは、これまでの実践の中でも取り組まれていましたが、この改定を機にさらに意識的に取り組むことが求められるようになりました。

日々保育を行う保育所や保育士自らが、実践している保育内容を振り返り、それを評価することが、保育所保育の質を高めるための有効な方法であると考えられます。

さらに、保育所の自己評価を公表することにより、保育所で実践されている保育に対する保護者や地域の理解が深まり、そのことがひいてはより一層の信頼につながり、かつ保護者に選ばれる保育所となることにつながっていきます。

このことから、全国保育士会は保育所・保育士の自己評価の具体的取組み方策について検討を進め、それを共有することにより自己評価の実施の促進を図っていきます。

ステップ1

保育士（職員各自）

保育士が自己評価チェックリストに記入し、

- ①自らの保育
 - ②保育所の保育
- について評価を行います。
また、「課題シート」に課題を書き出します

主任保育士の役割

- ①課題への気づきを促し、課題整理を支援します
- ②相談に応じ、必要な支援を行います
- ③保育士の保育の達成度の評価を行います
- ④個々の評価・意見を総合的にまとめます
- ⑤チームや保育所としての自己評価につなげていくべき課題を見出します

課題・留意点

- ①チェックリストの評価項目は、保育士の保育を評価できるものであり、かつ保育所の保育を評価できる内容のものであることが必要です
- ②記入すべき内容やその視点等アドバイスし、保育士が記入しやすくすることが必要です
- ③保育士が課題意識を持ってない（課題に気づけない）場合への対応が必要で

ステップ2

チーム

個人の自己評価を持ち寄り、チームで

- ①共通理解を図り
 - ②課題を確認し
 - ③その解決策について検討します
- その際、検討は、「3才未満児」と「3才以上児」に分かれて実施します
チームでの話し合いの結果を、チームとしての保育所全体の自己評価をチェックリストに記入します
さらに、保育所全体の課題を「課題シート」に記入します

【検討チームの例】

クラスごとに
3歳未満児クラス・3歳以上児クラス担当で分かれて
クラス担当者で、フロア毎に

【検討の場の例】

日々の保育の中、クラス会議、給食会議
事務所会議、カンファレンス など

主任保育士の役割

- ①チームでの会議がもてるよう時間の確保と調整を図ります
- ②評価の手順とそれまでの意見の内容や背景を分かりやすく保育士に伝え、共通理解の上で検討が行われるよう促します
- ③チーム会議にて保育士の疑問に答え、課題の明確化や改善の方向性を助言します
- ④チームでの検討を踏まえ、さらにリーダー保育士や主任保育士で検討します
- ⑤個人の問題と園全体で話し合った方が良い問題に分けます

課題・留意点

- ①評価を行うにあたり、リーダー役を担う保育士をどう見出すかが課題です（主任保育士は介入し過ぎないようにします）
- ②担当以外の子どもの保育の状況が把握しづらいため、チームで検討する際にはそうした状況も共有できるよう工夫が必要で
- ③保護者からの意見や要望を評価につなげます

ステップ3

保育所全体

各チームの自己評価チェックリストを持ち寄り、保育所全体の評価について

- ①各チームでの評価を共有します
- ②各チームでの評価を踏まえ、評価の違う項目について話し合い、保育所としての評価をまとめます
- ③評価を踏まえ、課題の共有化を図り、課題シートに記入します
- ④課題への解決策について検討し、「改善シート」に記入します
- ⑤保育所内における研修につなげ、課題解決と保育の質の向上に取り組みます

【検討の場の例】

職員会議

主任保育士の役割

- ①全体会議の場では、効果的は検討方法を助言し、保育士の意見や考えを引出し、組織としての力が発揮できるように促します
- ②個人の評価を積み重ねて、保育所全体の評価にまとめることを促します
- ③課題に対する解決策については、実践段階において、保育所全体、フロア、クラス等いずれに段階でどのように取り組むのが整理し、実践を促します
- ④課題解決の取り組みの結果、自己評価がどのように保育に活かされたのか、継続して確認していきます

課題・留意点

- ①職場全体で協議では、各チームからの報告という一方的な形式にならないよう留意する必要があります
- ②保育士の経験年数等の違いにより評価にも温度差が出てくるので、調整が必要で
- ③個人のスキルアップにも着目し、その実践により保育所全体のレベルアップをめざします